

# フクシマガリレイ株式会社の事業適応計画のポイント

当社は、サステナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を掲げ、食品の生産からテーブルに並ぶまで温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることに挑戦します。今回の計画では、業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース等を製造する工場に自家消費型太陽光発電設備を導入します。

これにより、業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース等の製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

## 1. 事業適応計画の実施期間

2022年1月～2023年3月

## 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を23.1%向上することを目標とします。

## 3. 前向きな取組の内容

自家消費型太陽光発電設備を導入し、業務用冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースの製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

- ▶ 岡山工場（主に業務用冷凍冷蔵庫の製造工場）
  - ・ 目標のCO2削減量：448 t -CO2/年の削減  
（2020年度比25%減）
  - ・ 目標の炭素生産性向上率：41.13%
- ▶ 滋賀工場（主に冷凍冷蔵ショーケースの製造工場）
  - ・ 目標のCO2削減量：384 t -CO2/年の削減  
（2020年度比19.2%減）
  - ・ 目標の炭素生産性向上率：25.95%

## 4. 支援措置

税制措置（CN投資促進税制）

## 太陽光発電設備が設置される工場の外観

岡山工場



滋賀（水口）工場

